

私の指輪

小宮 一仁

1999年の2月14日のことです。前日の13日に、ケンブリッジから90km程東にあるイプスウィッチという街に仕事で出かけました。英国に住んで痩せていた私。指も細くなっていたので自然に抜けたのだと思います。夜ケンブリッジ駅に戻った時に、指に結婚指輪がないことに気づきました。これは大変と、翌日の14日、朝から指輪を探しに出かけました。14日は日曜日、前日と違い列車の本数は極端に少なく、また直通列車もないため列車を乗り継ぎながら2時間半以上

かけてイプスウィッチ駅に着きました。安息日の午前中、ハイストリートにすら人影のないイプスウィッチの街を、駅から前日と同じ道を、足下の道路や側溝に指輪がないか探しながらうつむいて歩きました。歩くこと1時間、前日訪ねた最後の建物まで辿り着き、諦めかけた時、建物の玄関の横の土の上に光るものが。指輪がありました。

平成 30 年 2 月 14 日